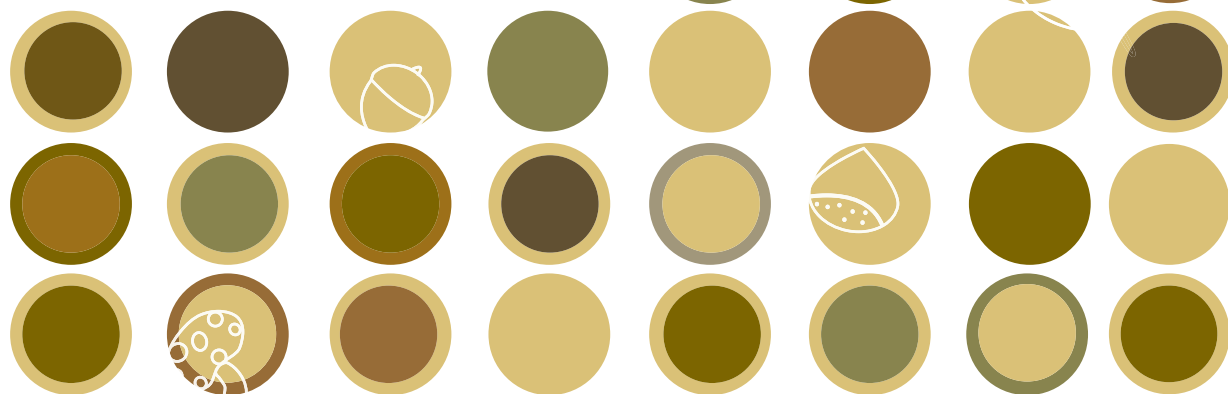


イアマス  
IAMAS 出前教室

vol.17



老いの愉楽 第1回「老人文学を読む」



老人が老人のことを書いた文学を「老人文学」といいます。高齢化社会の現在、老人文学は次々に書かれ、読まれています。それらはこれから老いの世界へと参入する人やいまだ老いとは無縁な若い人に対しても、たしかな世界観を与えてくれます。老人文学は、ときとして反面教師であり、ときとして人生の指針を与えてくれるテキストなのです。いくつかの代表的な老人文学をあげながら、「老いる」ということについて考えます。

講師プロフィール

小林 昌廣(こばやしまさひろ)

情報科学芸術大学院大学スタジオ4教授。芸術生理学者。医学・芸術・哲学を頂点とする三角形の中心に「身体」を措定して、さまざまな身体表現の研究・批評、医療福祉分野における芸術表現行為の応用、さらに舞台芸術のプロデュース等を行う。主な著書に『病い論の現在形』『「医の知」の対話』『臨床する芸術学』等。

日時 2009年11月6日(金) 18:30~20:00

場所 大垣市多目的交流イベントハウス  
(大垣市郭町2丁目28番地)

定員 50名程度 参加無料／予約不要

対象 一般、学生の方

主催 情報科学芸術大学院大学  
メディア文化センター(CMC)

TEL 0584-75-6606

URL [www.iamas.ac.jp](http://www.iamas.ac.jp)



次回予告 12月4日(金)



IAMAS(イアマス)とは、大垣市領家町にある情報科学芸術大学院大学と岐阜県立国際情報科学芸術アカデミーの総称です。出前教室は、毎月1回大垣のまちに出て、市民のみなさんに向けて行うレクチャーや公開ゼミのことです。